

## 植物画 —— 葉を描く

田地川和子・貴島せい子・肥田陽子 (GREEN GRASS)



山野草 12種 (貴島せい子)



野の花・春 (肥田陽子)



樹木 (田地川和子)

### 葉を描く

植物画は植物を科学的に描く絵画です。葉を科学的に描くには、観察しなくてはならないポイントがいくつかあります。

#### 葉の部分と名称

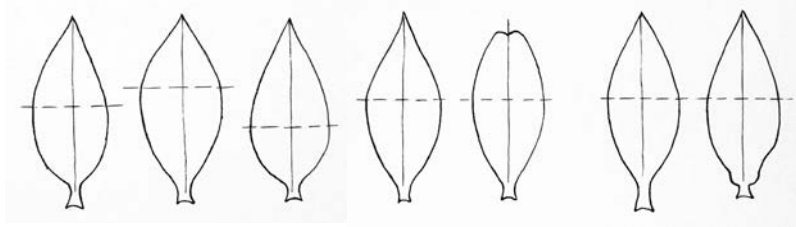


## 葉のかたち

葉の形はほんの少しの違いでガラッと雰囲気が変わります。

以下のポイントを観察すると正確に描けます。

- ① 葉身の一番広い位置
- ② 先端の形
- ③ 基部の形
- ④ 葉柄の長さ

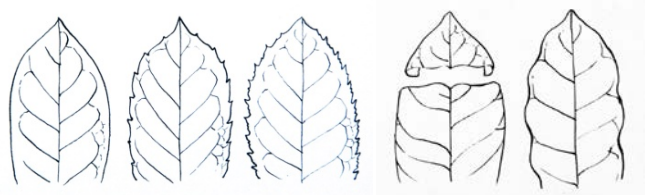


## 葉の縁のかたち

葉の形を正しく捉えたら、次は葉の縁が観察のポイントです。

- ① 縁に鋸歯（ギザギザ）がない（全縁）
- ② 鋸歯がある、または鋸歯の中にさらに細かい鋸歯がある（重鋸歯）
- ③ 葉裏に巻き込む
- ④ 波打つ

正確に描いた葉の形の上に、縁の状態を描き足して、さらに葉の情報を詳しくします。



## 葉脈のかたち

葉脈も葉の特徴を表す大切な要素です。また、葉脈は葉の質感にも関係しています。

- ① 脈の数
- ② 主脈からの側脈の出方（角度、互生か対生か）
- ③ 側脈の先がどこに流れていくのか（葉の縁や鋸歯との関係）
- ④ 主脈、側脈、細脈の太さの違い



## まとめ

植物画はまず鉛筆のデッサンが大切です。植物の情報の中でもかなりの部分が表現されるからです。暗い影や凹みの部分の線は強く、光が当たったり盛り上がった部分の線は優しく、という様に線に強弱をつけることで、立体感を表現することができます。

今回は触れていませんが、肉眼では見えにくい特徴もあります。たとえば、毛が生えている、油点がある、蜜腺があるなどの場合は、ルーペや顕微鏡を使って観察して描きます。厚みや質感などは手を触れて知ることが大切です。

あなたのすぐ側にある葉っぱを手元に置いて、鉛筆で描いてみてください。葉1枚の中にもたくさんの驚く発見があります。

## 参考文献

「植物画の描きかた」、Keith West 著・安富佐織 訳、1989、八坂書房。

